

千葉大学病院にて治療を受けられた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年7月3日

食道胃腸外科

食道胃腸外科では、非閉塞性腸間膜虚血症（NOMI）に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2011年1月1日～2022年12月31日の間に食道胃腸外科で治療を受けられた非閉塞性腸間膜虚血症の方

1. 研究課題名

「非閉塞性腸間膜虚血症の治療成績」

2. 研究期間

2023年承認日～2024年3月31日

この研究は、千葉大学附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

全身状態の悪化に伴い、脳や心臓などの重要な臓器の血流を維持するために腸管の血流が低下することがあります。それが進行して腸管虚血、壊死をきたしてしまう疾患が非閉塞性腸間膜虚血症（NOMI：Non-occlusive mesenteric ischemia）です。医学が発達した現代においても早期診断が難しく、治療成績がとても良くない病気です。本研究は、非閉塞性腸間膜虚血症の治療成績を調べることを目的としています。

2011年1月1日～2022年12月31日の間に当科で治療を受けられた非閉塞性腸間膜虚血症の方を対象とし、診療録に記載されている情報から治療成績を調査します。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えたデ

ータを使用いたします。氏名等と研究 ID の対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には送付しません

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている以下の情報を用います。

- 患者基本情報：年齢、性別、持病など
- 診断方法についての情報：診断方法（術前画像診断、手術中の診断など）
- 治療関連情報：治療方法、手術した場合の術式など
- 転帰情報：生存期間、社会復帰の有無など

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：食道胃腸外科 講師 大平 学

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院食道胃腸外科臨床研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院食道胃腸外科

医師 大平 学

043(222)7171 内線5294